

土づくりの必須アイテム「乾燥牛糞」が 善玉菌をプラスして、使いやすくなりニューアル！ 有機JAS対応資材

リニューアル前



『粒が残り、ゴツゴツ』



リニューアル後



『こんなにサラサラ！』

ココがポイント！

新たに加わったバイオ21(善玉菌)の働きにより、
土壤環境を整え連作障害を軽減します。

きめも細かくなり、すき込み作業効率UP！

完全発酵、完全乾燥済みで無臭。

製造工程をご紹介します

パーク堆肥の製造



主原料となるパークチップに、バイオ21、米ぬかを入れて約15回(3~4週間に1回)切り返しを行います

この「バイオ21」がリニューアルのポイント。「バイオ21」に含まれる生きた微生物(善玉菌)が、有機物を速いスピードで分解。有機物の栄養分は残したまま、堆肥を完熟発酵させます

完全発酵のパーク堆肥



牛ふん、完成パーク堆肥と、バイオ21、米ぬかを混合して、15～20回(2～3週間に1回)切り返しを行います

さらに数回、ふるい、かき混ぜて完成



20～30回ほど
切り返しを行い、完成までに
1年～1年半かけています



堆積された淡路黒毛和牛のふん

さらなる発酵＆切り返し

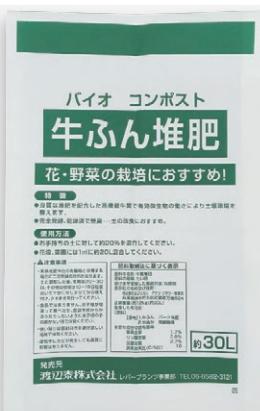


- ・完全発酵させているので、根焼けの心配なし！
- ・水っぽさがなく、さらさら
- ・牛ふんくさがありません



製造者の声

自分の家庭菜園でも使用していますが、連作障害の出やすいトマトやジャガイモも毎年豊作です。十分に発酵させているので、堆肥のすき込み後、すぐに定植できるのが便利です。手間も省けて安心して使っていただけます。



写真はイメージです

「時間がかかるっても、よいものを作りたい」という、製造現場の熱い想いが凝縮されています

窒素 リン酸 カリ
1.7 2.8 2.7

良質な乾燥牛ふんに、バイオ21(善玉菌)を配合。土の保水性、通気性が増し、土を素早く元気に。べとつきや根焼けの心配もありません。

牛ふん堆肥

■日本製(淡路島)

※未熟堆肥や他の有機物と併用する場合に二次発酵の恐れがあります。土と混和した後、冬期は20～30日、その他の期間は10～15日程度おいて、十分になじませてから植え付け、タネまきを行ってください。